

もし、本選びにこまるようだったら、あらかじめテーマを決めておくといいでしょう。「動物」とか「食べ物」というテーマだったら、イメージしやすいと思います。



「妖怪」なんていうテーマだったら、ぞくぞくする本がたくさん紹介されるかもしれませんね。

たとえば、「海」というテーマだったらどんな本がいいと思いますか？



釣りの本！ ぼく、夏休みにおとうさんと釣りに行ったんだ。

海釣りですね。実際に釣りを楽しむ本でもいいですし、釣りがでてくる物語もありますよね。

海といえば、『人魚姫』でしょ！ このあいだの国語の宿題で『人魚姫』を読んだあとに感想文を書いたの。わたしの大好きな物語だし、それを読めばビブリオバトルでの本の紹介にもなるよね。いま、ためしに読んでみるね。



『人魚姫』を読んで
高橋さおり
このお話は、一八三六年にハンス・クリスチャン・アンデルセンというデンマークの作家が書いたものです。アンデルセンは、『はだかの王様』や『みにくいあひるの子』『雪の女王』など、有名なお話をたくさん世に送りだした人です。
『人魚姫』がどんな物語かというところ、深い海の底に住んでいた人魚姫は人間になりたいくて、あるとき海の上にでてみました。そこで、大きな船を見ました……。

ふわあーあ。
知っている話だし、
なんだか国語の
授業みたい……

ずっと下を
向いて読んで
いるからかな？



ビブリオバトルでは、原稿を用意しません。とおるくんがいうように、原稿を読むために紹介者が下ばかり見ていたら、聞いている人がどんな気持ちでいるか、わかりませんよね。ですから、まわりのようすを確認しながら紹介してみましょう。

ビブリオバトルは、「その場にいるみんな」に向けて話すゲームです。肩の力をぬいて、本のおもしろさをめいっぱいアピールしてみてください。